

新図書館開館記念号

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY LIBRARY BULLETIN

2017. July No.182



- | | | |
|-----|--------------|-------------|
| 1 | 新図書館の開館に寄せて | 図書館長 古田 雅憲 |
| 2 | 新図書館活用のススメ | 図書情報課長 吉田 進 |
| 3-4 | 新図書館アラカルト | 図書情報課 渡部 光晴 |
| 5 | 西南の知の樹に憩う | 図書情報課 坂本 里栄 |
| 6 | 新図書館おすすめスポット | 図書館スタッフ一同 |

新図書館の開館に寄せて

図書館長 古田 雅憲

待望の西南学院大学新図書館が開館いたしました。当初の計画決定から5年、この建設プロジェクトにご尽力くださったすべての方々に心から御礼を申し上げます。

この間、新図書館に係る企画立案を担った建設委員会では、後藤新治教授(前図書館長)を中心に、「これからの図書館に求められる機能」や「具体的な施設・設備」等について、実に真摯で建設的な、そして時に厳しい議論が重ねられました。私は当職の引き継ぎに際してその会議録を拝読したに過ぎませんが、行間から立ち上る熱気に圧倒され、身の引き締まる思いがしたものです。

議論の結果、「従前の図書館機能をさらに充実するとともに、近年の教育課題であるアクティブ・ラーニングの実践に資すること」という基本理念が取りまとめられました。すなわち「情報・交流・遊戯・歴史」という四つのキーワードに示されるところです——西南学院大学における「情報発信と

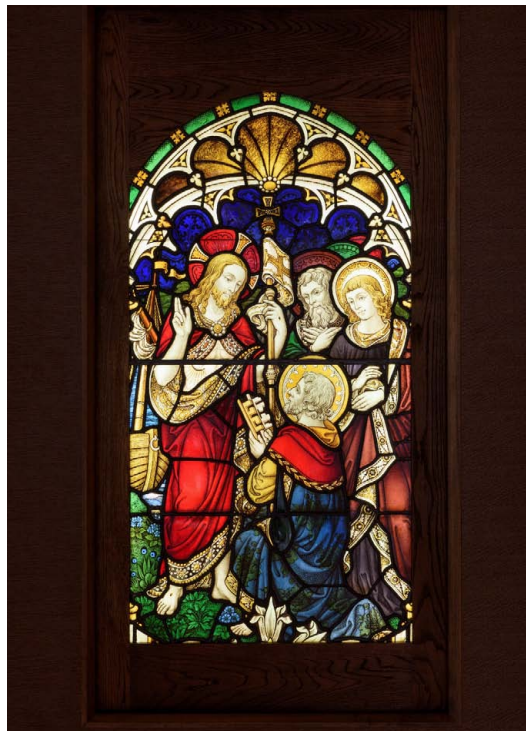
交流」の知的拠点として、アート作品を一体的に組み込むなど「遊び心」を大切にしつつ、「この街の歴史」と共に歩んでいくという願いが込められています。

その外観は、<レンガ・トレスアリー>と呼ばれる赤レンガの透かし積みと全面ガラスとを組み合わせで創られたもので、まさしく「大学の顔・シンボルとなる新たなランドマーク」と言うに相応しいたたずまいを備えています。

また館内に歩を進めると、<ブックツリー>と<ラーニングリーフ>からなる「西南の知の樹」とも喩えられる吹き抜け空間が広がります。それは「図書館」という空間の歴史性や倫理性を直観的に表現

し、また書物自体が宿す世界観・宇宙観の無限の広がりを視覚的に演出する仕掛けです。そこに身を置いた方々が、時間を越えて本学に紡がれてきた「学び問うことの自由と尊厳」を直観的に感じ取ってくださり、森羅万象に向けて興味・関心や学修意欲をかき立ててくださるなら幸いです。

それらのことを象徴的に表す美しいステンドグラスがメインゲート正面に掲げられています。19世紀



「聖ペテロに天国の門の鍵を授けるキリスト図」
元・西南学院高等学校 後援会長 福田 量様よりご寄贈

後半の英国で創られた「聖ペテロに天国の門の鍵を授けるキリスト図」です。この図像は、「わたしはあなたに天の国の鍵を授ける。あなたが地上でつなぐことは、天上でもつながれる。あなたが地上で解くことは、天上でも解かれる」というマタイ伝の言葉(第16章19節)に依っています。私には、そこに描かれる「鍵」が「人々を和解と癒やしに導く智慧のしるし」と感じられるのです。

遠く歴史を振り返れば、この西新の地には、異国の人を遠ざけ戦さに備える防塁が築かれ

ていました。言うなればこの地はかつて「隔てと諍いの場」でした。今その地に、人類の叡智を繋ぎ和解を説く「鍵」を手にするための図書館が建ちました。対照的とも思える出来事の不思議な縁に、私は心ゆさぶられる思いがしています。このような「土地の歴史と共にあること」が新図書館の魅力の源泉なのかもしれません。

ここに集うすべての方々が、ここに蒐められた先人たちの言葉の数々に導かれ、また今を生きる人々と伸びやかに交流を重ねつつ、それぞれの<豊かな学び>を紡いでくださることを心から祈念します。

いよいよ新図書館が4月1日にオープンしました。既に来館した方は、旧図書館とは何か趣が異なっている、と感じられたのではないのでしょうか。自由に会話ができたり、あるいは飲食ができるスペースがあり、とても活気に溢れています。従来の図書館は、研究テーマに関連する資料を探し、その資料を黙々と読み込む場所というイメージが強かったと思います。近年、大学の授業は、受動的学修から能動的学修(アクティブ・ラーニング)へと質的転換が進んでいます。対話型や問題発見・解決型の講義を通じて、学生の思考力、コミュニケーション力あるいはリーダーシップ力を強化し、「知識を使える人材」を育成することを目指しています。本学の新図書館は、これらの支援を行うため、様々な設備機器を配置し、学生の皆さんが主体的に情報収集や活発な議論を行える環境を整えました。

新図書館の概要について

新旧図書館の比較は、下表のとおりですが、新図書館の特長は、大きく2つのゾーンに分かれています。まず1～3階を「アクティブ・ゾーン」と位置付け、1階にはプレゼンテーションエリアを、2階には後述するラーニングサポートデスクやグループ学習室を、3階にはSAINSルーム・情報検索室や視聴ブースを配置しています。学生の皆さんのディスカッションや、グループ学習などのアクティブな活動を支援します。一方、4～6階は「サイレ



ント・ゾーン」と位置付け、従来どおり静寂を保ち学習に集中できる空間を確保しています。

次に図書館の新しい機能を紹介します。2階にはラーニングサポートデスクを配置しています。例えば、レポートの作成時に、「文章の構成が決まらない」「必要な資料が見つからない」「内容がわかりづらい、と言われた」など、学生の「困った」に大学院生や学部3、4年生が丁寧に対応します。ノートパソコンやタブレット端末の貸出も行っています。

更に、在学生アンケート(2013年当時)の中でも、特に要望が多かった「リラックスできる」「飲食ができる」長時間滞在型の図書館を目指し、1階にカフェを、また3階から6階に飲食スペースを設けています。勉強の合間に、飲み物や軽食で疲れを癒してください。

誌面の都合で、他にも紹介しきれない機能がたくさんあります。皆さんが、実際に新図書館に足を運んで体験してみてください。わからないことがあれば、図書館員や学生相談員に気軽にお尋ねください。図書館員一同、お待ちしております。

○新・旧図書館の比較

	新図書館	旧図書館
規模	地上7階建	新館地上7階建、旧館地上5階建、 積層書庫7層(5階相当)
延床面積	約12,000㎡	約11,000㎡
収蔵能力	約180万冊 (うち7階自動書庫約80万冊)	約120万冊
閲覧席数	約1,170席	約800席
グループ学習室	10室	4室
視聴ブース	16ブース	11ブース

新図書館

New Library
A la carte



図書情報課 渡部 光晴

新図書館になって、旧図書館と比べてどう変わったか…?と聞かれれば、まず、利用者が増えたことで館内が非常に活気づいていることがあげられます。連日のように来館する学生も多くなったようです。もちろん休憩かたがた来館する学生もいますが、館内の活気が、休憩だけでなく学習や調べものをしていこうという気にさせ、学生のモチベーションをあげる場所になりつつあります。実際、来館者が1日で延べ3,500人になる日もでてきましたし、通常でも2,000人を超えています。入館口を混雑しないようにもっと広くしておいて良かったと思うほどです。

また、新設のラーニングサポートエリアを訪れ、学生スタッフ(3年生以上の学部生と院生)に質問や相談をする学生や、円卓デスクで討論し合う学生の数も確かに増え、この図書館は活気があると感じます。

新図書館でのこのようなアクティブラーニングへの対応や、利用者増につながる取り組みを開始して約3か月が経過しました。一部ですが現状等についてご紹介します。

グループ学習室の充実化

旧図書館にもグループ学習室は4室ありましたが、それほど利用されてはいませんでした。新図書館では3タイプ(少人数から最大30名まで収容)計10室に増やし、明るい室内で、電子黒板も導入したこともあり利用者が急増中です。特に数名の少人数であっても利用しやすいのが役立っているようです。

また、ガラス張りなので、発表などする時は、室外の図書館利用者の視線も感じて、ちょっとした緊張感もあります。利用申込が図書館ホームページから直に出来るようにしたことも利用者増の要因のようです。今まで教室でしていた授業の一部を、教員がグループ学習室でするケース、学生グループが面接練習や各種試験対策、ゼミ発表前の準備などで自主的に利用を申し込んでくるケースが格段に増加しています。



ラーニングサポートデスクの設置

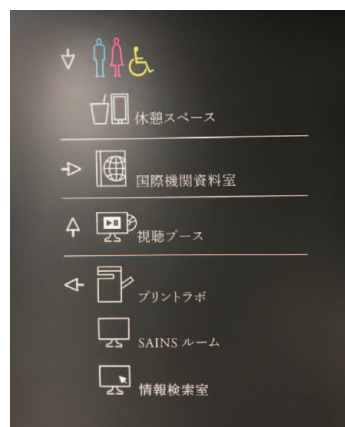
本学図書館では従来から学部生が担当するチューターやSAを置いていましたが、利用できる時間や対象者が限られていました。そこで、新図書館ではその枠を拡大し、学生スタッフ14名(学部上級生10名・院生4名)を交替制で毎日配置し、利用者からの質問相談のサポート、機器の貸出等をしています。円卓もあるこのコーナーはオープンで仕切りがなく開放的で、静かなBGMも流れ、かつ互いに刺激を受ける雰囲気となっています。学生スタッフにとっても良い経験の場となりそうです。



新図書館では、新規の設備やシステムがたくさん導入されました。電子黒板、自動貸出機、電動集密書架、自動書庫、各種の利用予約システム等の更新などです。これにより省力化されたものもありますが、これまで無かった新規業務もスタートしました。特に図書館でのアクティブラーニングの流れが全国的になってきている中で、図書館だからこそ出来る学生サポートを、他大学図書館もきっと目指していると思います。本学も、利用者から図書館を利用して良かったと思ってもらえるよう、今後もスタッフ一同頑張りたいと思います。



(グループ学習室利用情報)



(館内の表示サイン)

SNS の活用

新図書館を契機に図書館ツイッターを開始しました。いろんなツイートが学生から寄せられています。

学生のツイートは図書館ホームページや、1階カウンターの電子掲示板(デジタルサイネージ)でも見られるようにしていますが、学生にツイッター、インスタグラムで拡散してもらうだけでなく、図書館もツイッターで、学生に新着資料や時宜に応じた資料等の紹介をこまめに行い、図書館の存在と利用促進をアピールしています。



▲ツイッター
▶インスタグラム

カフェの設置

本学初の「ライブラリー・カフェ」は入館ゲート手前のエリアにあります。BGMが流れる洒落た雰囲気、本学学生は割引利用の特典付きです。店内は度々満席状態で、席に座って飲食できないことがあります。蓋つきの容器の飲物であれば、館内の通常の閲覧席へは持ち込みができるので、そのまま学生たちは飲物片手に入館してきます。

また、館内には軽食もできる休憩コーナーがあり、学生食堂の混雑を避けて、カフェで買ったものや持参した軽食で昼食を済ます姿を見かけます。図書館の長時間滞在利用者にはこのような施設は助かると思います。一方で、飲食マナーはしっかり守っていただく必要がありそうです。

なお、このカフェは一般の方も利用できるもので、地域のちょっとした人気スポットになりつつあり、大学に対するイメージアップに貢献できそうです。

在学生以外の利用者増加

これまでも卒業生や退職教職員関係者も図書館を利用できましたが、新図書館になってからは、イメージが良くなったためか利用申込や問合せが増えています(※残念ながら、一般の方のご利用はできません)。

1階の新聞コーナーなどを朝から利用されている“常連”の姿は、図書館横の一般歩道を歩く通行人から直に見えるのですが、ホテルのロビーでくつろいで新聞を読んでいるかのような雰囲気です。通行人から見えるので最初は少し勇気がいるかもしれませんが、また、現役学生に混じって一生懸命、書籍を読まれているOBの姿は、読書や学習の大切さについて若い学生世代に刺激を与え、また図書館利用を通じて今後もわが母校を見守っていただくことにつながります。これまで以上に新図書館をご利用いただきたいです。

西南の知の樹に憩う

図書情報課 坂本 里栄

命ある樹のように自ら成長する図書館、その象徴である「ブックツリー」。そこに憩う子羊はどんな夢を見るのか。

図書館が新しくなり、入館者が増えている。毎日訪れる学生を見ていると、まるで子羊のように見えてくる。司書である私は、さながら、シェルティ(シェットランドシープドック)の心境でもあろうか。

さて、新しい図書館は、知識の幹である「ブックツリー」と、成長する枝葉としての「ラーニングリーフ」とで構成されている。吹き抜けの底からブックツリーを見上げると、そこには伸び上がる本の幹があらわれる。

根元にあたる1階には、趣味や、ファッション、旅行などの一般雑誌や、話題のベストセラーがある。子羊たちに図書館を身近に感じて欲しいとの意図があって、あえて小難しい専門書は置かれていない。とことこと階が上がるにつれて資料は専門的になる。4階からのサイレントゾーンに入ると、ブックツリー内側は洋書のエリアに入る。カラフルな背表紙からの印象とは異なり、骨太の資料が並んでいるが、子羊たちは果敢に洋書にも挑んでいる。

開館前は、シェルティは子羊を専門書エリアへ追い込んでいくことも想定していたが、杞憂だったようだ。

ブックツリーの外回りにはテーマ別のピックアップコーナーが展開され、そこから各階の分類資料が配置されているラーニングリーフへと誘う構成となっている。

最上階の6階のブックツリー内側から外側に広がる文学。内側を駆け上がる洋書と外側に広がる和書。6階で和洋の文学が出会う。

今日も、たくさんの子羊たちが知識の樹木の中で、学び、悩み、楽しみ、そして成長していつているよう。

シェルティは、樹木の中で成長する子羊たちを見守っていきたい。もちろん、図書館も、まだまだ若木で、羊たちと一緒に、成長していくことだろう。

楽しみなこと、楽しみなこと…。
わんわん。



01 1階壁面のアート

気に入った1冊を持って、壁面オブジェの正面の椅子に座ってみましょう。

照明を落とした空間になじんだ陶器の温かみを感じて過ごす時間は、忙しい時ほど心を休めてくれますね。なお、館内のアート作品については、パンフを1階に置いています。



02 2階ラーニングサポートエリア

窓際のデスクで仲間と色々な話をしてみましょう。話の途中で外を見ると、目線の高さに木々の緑。少し息を抜いて、ガラス張りの図書館特有の景色を、季節ごとに楽しんでください。なお、ラーニングサポートデスクにいるスタッフは皆さんの先輩(3年生~院生)で、みなさんをサポートします。気軽に相談してください。



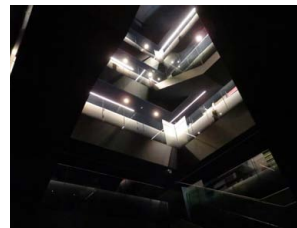
03 町子先生とサザエさん



図書館南側の歩道に立つ像「町子先生とサザエさん」。サザエさんの作者である長谷川町子さんとサザエさんが親しげに話しています。西南学院関係者だけでなく、市民の格好の待ち合わせ場所にもなっています。

04 吹抜け(ブックツリー)

エレベーターではなく、時には吹抜けまわりの階段を使って移動しよう!不定期にジムに通ってトレーニングするより、毎日階段を上って体を動かすほうが健康維持にも減量にも効果的であるとの結果がアメリカの大学で発表されています。



05 1階天井のアート

まだ、1階の天井にオブジェがあることに気がついていない方もおられるかも？人それぞれで雰囲気を感じてください。



06 図書館横の公開歩道

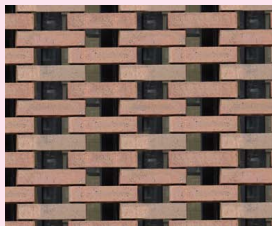
図書館は十字路に面していますが、東側と南側の道路沿い敷地は塀を無くし、一般の方の通行だけでなく、植樹帯と、休憩のできるベンチも備えたエリアとして開放しました。これにより、図書館周辺の見通しがとても良くなり、歩道の通行もしやすくなりました。



図書館スタッフ おすすめスポット Recommended spots

07 レンガ トレサリー

図書館の外観で特徴的なレンガのデザインは、【トレサリー】と呼ばれ特徴的です。



08 天井や窓にも 文字のアートが

土地、歴史、聖句にちなんだ言葉をアートにしています。目が疲れたら、外の風景を見るのも良いですが、館内のこういった芸術作品でもリフレッシュしましょう。



10 休憩スペース

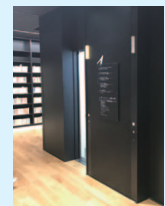
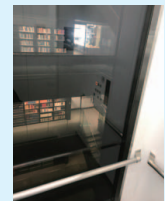
3階から6階まで休憩スペースを設けています。こちらの細長い部屋はすべてカウンター席で、特に上のほうの階は見晴らしがよくてリフレッシュできます。

軽食なら持ち込めますので、小腹がすいてエネルギーをチャージしたいときなど、ぜひ休憩スペースをご利用ください。



11 エレベーターが使える？

何で今更エレベーター？と思われるでしょうが、いままでの旧図書館は、学生が自由に出入できるのは4階までで、車いす利用者の場合等を除いて、原則として学生のエレベーター利用を制限していました。しかし、新図書館は6階までであるため、吹抜けからの眺めを楽しみながら利用できるようになりました。エレベーターから中央部の吹抜け（ブックツリー）が見えます。



12 4階から上は サイレントゾーン

1～3階は、勉強に関する会話はして構いませんが、4階から上は、集中して学習するスペースです。メリハリをつけて上手に使っていただきます。階段を上りきったところやエレベーター前の床に写真のサインを敷いています。また、上層階は眺望も良いですね。



09 ライブラリーカフェ

連日、行列ができています。ここは学外者も利用できます。明るく、洒落たBGMも流れています。気分転換したくなったらご利用ください。また、本学学生は割引料金でうれしいですね。



13 館内の壁面に書かれているFやEの白文字は？

気がつかれた方もおられるでしょうが、このアルファベットは、資料が置かれているエリアの区分表示です。ちなみにEは、吹抜けの外回り、Fは吹抜けの内回りを表しています。吹抜け（ブックツリー）を中心に、北側がA、東側がB、南側がC、西側（集密書庫以外）がD、集密書庫がGとなっています。OPACで検索した配架場所にこのアルファベットが記載されていれば、とりあえず大まかな場所が分かりますね。



【旧図書館】1968年竣工



【新図書館】2016年9月竣工 2017年4月開館



編集後記

いよいよ新図書館が開館しました。
初めて新図書館に来られた方はどんな感想をもたれたのでしょうか。
まだ行っていない方はぜひ行ってみてください。
図書館の在り方があらためて問われています。
本学はこれからも図書館の役割について考え、
皆様の期待に応えていきますのでよろしく願いたします。

西南学院大学図書館報 No.182

2017(平成29)年7月31日発行
編集 図書館報編集委員会
発行 西南学院大学図書館
〒814-8511 福岡市早良区西新6丁目2番92号
TEL(092)823-3426
<https://opac.seinan-gu.ac.jp/library/>
図書館報バックナンバー(No.153～)も上記サイトに掲載しています。